

# 丹沢たかし活動報告

丹沢たかし後援会 / 市川三郷町市川大門1227  
TEL/FAX 055-272-0413  
tanbaya@t-tanzawa.com



3月1日に市川高校・峡南高校・増穂商業高校では、新しく建設された青洲高校体育館で、卒業式が行われました。長い歴史を持つ3校は最後の卒業生を送り出し、閉校となりました。

地域としても、個人としても、各高校の閉校に関しては様々な感慨を持たれているものと思います。

残念ながら、特にこの2年間は、様々な行事、授業やクラブ活動が制限されるなど、コロナの影響を強く受ける高校生活となってしまいました。4月からは成人としての生活が始まりました。世界や社会の出来事に関心を持ち、様々な経験を積み、自己実現に努めて欲しいと思います。

そしてまた、時々はこの地を訪れる時間を作って欲しいと願っています。



3月まで

4月以降

**ロシアによるウクライナに対する侵略行為に対し、政府に厳格な対応を求める意見書を提出しました。**

- 「ロシアのウクライナ侵攻に抗議する決議書」  
(国会議長・総理大臣・財務、経済産業大臣等 あて)

市川三郷町ゆかりの会「りんどう」(連携型県人会)の総会は、今年7月2日(土)に「i f センタ」で開催予定です。

- **総会**  
毎年7月第1土曜日開催予定
- **会員申込みは随時受付中**  
(町ホームページ参照)
- **事務局** 町政策推進課

## 【所属委員会等】

- 総務厚生常任委員会 (委員長)
- 議会広報編集特別委員会 (副委員長)
- 議会運営委員会委員
- 議会改革特別委員会 (全議員で構成)
- 町民体育館コンクリート直貼り床の調査及び検証特別委員会委員
- 峡南医療センター企業団議会議員
- 山梨県西部広域環境組合議会議員
- 町社会福祉協議会理事
- 連携型県人会・市川三郷町ゆかりの会「りんどう」理事 (元設立準備委員)
- 大畠山外七字恩賜県有財産保護組合議会
- 市川大門恩賜県有財産保護財産区管理会

■ 定例議会は、年4回 (3月、6月、9月、12月) ほぼ2週間の会期で開催されます。  
この他に、必要により臨時会が開かれます。

# 令和4年3月 定例議会の概要

1. 全員協議会 2月24日(木) 議会運営委員会 : 議会改革特別委員会
2. 会 期 3月 3日(木)～3月15日(火) 52議案
3. 主な日程
  - \*土・日休会日 ; 他予備日
  - 3月 3日(木) 本会議(一般質問等)
  - 4日(金) 総務厚生常任委員会
  - 8日(火) 土木教育常任委員会
  - 15日(火) 本会議(委員会報告、討論 等)
4. 主な議題等

## ■主な条例改正の採決結果

### 《可決》

- 町長、教育長の給与及び旅費条例改正(賛成 6 ; 反対 5) 《丹澤は賛成》  
・名称に副町長を追加し、副町長の給与の額を月額538,000円とする。
- 副町長の選任につき同意を求める(賛成 6 ; 反対 5) 《丹澤は賛成》  
・依田誠二氏(60歳) 前山梨県子育て支援局長

### 《否決》

- 100歳祝金・年金条例改正(賛成 2 ; 反対 9) 《丹澤は反対》  
**提案内容**・在宅の時: 祝い金を30万円⇒10万円に減額、年金月3万円を廃止  
施設入居時: 10万円⇒5万円に減額
- 子育て祝い金等支給条例改正(賛成 0 ; 反対 11) 《丹澤は反対》  
**提案内容**・多子世帯子育て応援金(第3子は+3万円。第4子は+5万円)を廃止。  
小学校入学時に一律2万円支給は継続。

## ■令和3年度一般会計補正予算

- 新型コロナウイルス支援の非課税世帯等臨時特別給付金 +2億73752万円  
◇ 子育て世帯への臨時給付金(5万円追加支給分) +9852万円
- 新自治公民館建設事業費 △6415万円
- 地域商店応援キャッシュレス決済事業負担金 +3800万円  
計上済み(1195万円)

## ■令和4年度当初予算

### 《可決》

- 一般会計当初予算(賛成 6 ; 反対 5) 《丹澤は賛成》

会計名	当初予算額	構成率	前年度比較		
一般会計	91億1536万円	60.82%	△1億9659万円	△2.11%	
特別会計	58億7185万円	39.18%	+1億870万円	+1.89%	
うち	国民健康保険	17億9543万円	11.98%	+4406万円	+2.44%
	介護保険	22億9410万円	15.31%	+6270万円	+2.81%
	公共下水道	10億7590万円	7.18%	△3159万円	△2.89%
	温泉事業	6835万円	0.46%	+2463万円	+56.33%
	歌舞伎文化公園管理	2682万円	0.18%	△87万円	△3.13%
総額	149億8721万円	100%	△8805万円	△0.58%	

### ◆主な新規事業

(予算額)

市川南中学校屋上防水改修事業	4 5 3 2万円
三珠庁舎空調設備改修事業	2 7 9 3万円
町道矢作川浦線(三珠)道路改良事業	2 6 5 0万円
三珠保育所駐車場整備事業	2 0 2 0万円
県営たん水防除事業	1 1 8 3万円
神明の花火会場坂場階段設置事業	8 0 3万円
都市計画マスタープラン改定事業	8 0 0万円
大塚古墳調査整備事業	4 2 9万円
ふるさと会館外壁腰板修繕事業	3 9 6万円
市川南保育所屋上屋根塗装修繕事業	3 0 0万円
六郷中学校トイレ屋上防水改修事業	2 0 1万円
給食施設整備事業	1 8 4万円
落居体育館屋根改修事業	1 5 0万円
市川南小中学校プール循環浄化装置更新事業	1 4 0万円
買物支援(移動販売車)業務委託事業	1 2 7万円
大塚小学校玄関陸屋根防水改修事業	7 2万円
高齢者みまもりサービス事業	5 4万円

### ◆主な継続事業

(予算額)

峡南医療センター負担金	2億9734万円
一般廃棄物処理事業負担金	2億1748万円
つむぎの湯・いきいきセーター事業	8046万円
一般廃棄物処理事業(委託料)	5922万円
子育て支援医療費助成事業	5754万円
学校給食費補助事業	5430万円
放課後児童健全育成事業	5314万円
少人数学級推進事業	4108万円
民間外国語指導者設置事業	2496万円
トンネル長寿命化修繕計画事業	2410万円
コミュニティバス運行事業	2213万円
若者定住促進住宅補助金交付事業	2000万円
長寿・医療費給付金事業	1966万円
町道岩間久那土線歩道設置事業	1850万円
配食サービス事業	1464万円
障がい者自立支援拠点整備事業	1224万円
町道南通り線側溝改修事業	1100万円

### ◆地方債現在高の状況(臨時財政対策費含む)

	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末見込	前年度比較
一般会計	144億3821万円	138億8795万円	130億154万円	△8億6255万円
特別会計	87億4943万円	82億9390万円	78億5457万円	△4億3933万円
上水道事業	5億5605万円	5億179万円	4億4721万円	△5459万円
合計	237億4369万円	226億7364万円	213億1717万円	△13億5647万円

### ◆基金の状況

	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末見込	前年度比較
財政調整基金	18億1291万円	18億4815万円	11億7893万円	△6億6922万円
基金合計	44億86万円	43億5085万円	35億6025万円	△7億9060万円

## ■ 一般質問 3月議会で以下の質問を行いました。

\* 詳細は市川三郷町ホームページ「議会会議録」に掲載されます。

### ◆ 1. 成年（成人）年齢引下げに伴う成人式対象年齢は

**Q:** 制度改正により、この4月から成年年齢が20歳から18歳に下げられる。

町主催の「成人式」対象年齢は変わるのか。

**A:** 県内全市町村で合意しており、20歳開催を維持する。

18歳とした場合、大学受験や就職準備の時期であり対象者の負担が大きい。

**Q:** 制度改正の周知は。

**A:** 親の同意なしで契約が可能となることもあり、消費者被害が懸念されることから、町ホームページなどで周知を図る。

**Q:** 「成人式」の名称は。

**A:** 「20歳を祝う会」などへ変更する自治体もある。検討し、夏頃決定したい。

#### \* 成年年齢引下げ

◆ 親の同意なしで可能となる

・ クレジットカード作成、携帯電話の契約、ローンを組む

・ 女性の結婚年齢が上げられ、男女とも18歳に

◆ 20歳でないとできないこと

・ 飲酒、喫煙、競馬・競輪等の投票券（馬券等）を買う

### ◆ 2. 町主催のふるさと四季の祭りの運営体制見直しの概要は

**Q:** 現在は町主催で「ふるさと四季の祭りが開催されている。今後の運営形態見直しの概要は。

**A:** 従来町長が務めてきた実行委員会会長を辞すとともに、新たな実施主体へ移行し、更なる充実を図る様体制整備する。今後、各実行委員会で協議していく。

**Q:** 神明の花火大会は年々人気が高まり、町の魅力発信の核となっている。今後の大会運営の基本的方針は。

**A:** 平成元年に復活し、現在では観客動員数26万人を超える県下最大の祭りとなっている。県の「信玄公祭り」や県関係機関との連携を強め、大会の充実と体制強化につなげる。

**Q:** 人気が高まり、有料観覧席券の町民の入手が困難な状況となっている。「町民枠の設定」などの検討が求められる。

**A:** 町民の支援と協力があって成り立つ祭りであり、対応案について今後実行委員会で協議していく。

**Q:** 神明の花火大会に関する町の財政負担は。

**A:** 通常開催した令和元年実績では、町からの支出は約400万円である。

**Q:** 有料観覧席として使用できる土手の整備工事が進んでいる。拡張後は、有料席がどの程度増やせるのか。

**A:** 国土交通省の「かわまちづくり」事業として笛吹川河川整備工事がなされている。現在は7484席を有料観覧席として活用している。拡張後は、約1万8千人弱まで収容可能になると想定している。

#### \* ふるさと四季祭り

◆ ふるさと春まつり

（ぼたんの花祭り）

◆ ふるさと春まつり

（神明の花火大会）

◆ ふるさと春まつり

（はんこ日本一六郷の里秋まつり）

◆ ふるさと春まつり

（大塚にんじん収穫祭）